

宮前保育園では、12 月より感染症予防対策強化に取り組みます。

冬期の主な感染症であるインフルエンザ・感染性胃腸炎において、本園における平成 21 年度以降のデータを検証しました。

感染性胃腸炎は、年間通じて発症しますが、11 月下旬から 12 月上旬より診断される機会が増えます。最盛期は、年度によって違いはありますが、学年あたり約 10%（3 名ほど）が一度に罹患していました。診断名がない場合もあるので参考程度ですが、22 年度は年間を通じて感染性胃腸炎の診断を受けた園児は 3 名のみでした。感染性胃腸炎は、予防はもちろんですが、嘔吐・下痢があった場合の処理の仕方でも、感染が防止されるという結果が得られました。

インフルエンザは、12 月上旬から 1 月上旬にかけて流行し始めました。最盛期は毎年 2 月で、学年あたり平均 22%（6 名ほど）罹患し、最大 28%罹患した年度・学年もありました。（25 年度・シーズクラス）また、翌年 4 月下旬まで流行が続くことも特徴です。症状が現れた時点ですぐに対応することはもちろんですが、予防接種等で対策をとることも有効です。

上述の通り「一人の発症があっても二人目に発症させない」ための予防対策を講じることで、集団感染は予防できます。保育園生活は、乳幼児の集団生活の場ですから、感染症については早期発見、出席停止期間をお守りいただくことで、感染予防に繋がります。そのためには、保護者のご協力が必要です。お子さんの回復状態が、集団生活が可能な状態となつてからの登園であるよう、今後ともご協力をお願い致します。ご家庭においても予防および発症時の適切な対応をお願い致します。私たちも、徹底して取り組んで参ります。

I. 園児とご家族の健康状態の把握と対応

お子さんやご家族で発症した場合は、以下の対応をさせていただきますことを、ご承知下さい。

- (1) 口頭や連絡帳にてお子さん・ご家族の体調を把握させていただきます。
→症状がある場合、具体的な確認をします。
咳・鼻水・鼻づまり・嘔吐・下痢・顔色・元気の有無・その他症状（発疹・怪我等）
クラスで発症した場合には、関連するクラス・エリアに「園児と家族の健康シート」を発行します。
- (2) 発熱・咳・鼻水・風邪症状より強い全身症状・嘔吐・下痢の症状があった時は、登園する場所（保育園・通園バス）へご連絡下さい。
症状により、通園バスには乗車できない可能性があります。添乗員にご相談下さい。
- (3) 保育園で発症した場合は、速やかにご家庭へ連絡を致します。
保護者の方への不安感を取り除くよう、随時、丁寧に説明致します。
- (4) インフルエンザとみられる症状があった時は、発症した後 5 日を経過し、かつ乳幼児にあっては解熱した後 3 日を経過するまで、ご家庭にて経過観察をして下さい。
回復後、集団生活へ入る時に、咳が継続している間はマスクを着用して下さい。
- (5) 嘔吐症状があった時は、最終の症状から 24 時間、下痢症状があった場合、集団生活が可能な状態までは、ご家庭にて経過観察をして下さい。24 時間後、又は、ご家族で有症者が見られるなど、登園の判断に迷う場合は登園前に登園の場所へ電話連絡をして下さい。
➤ 宮前保育園 055-252-7777
➤ 通園バス（スモラー号） 090-5219-4847 通園バス（ホワイトィ号） 090-5586-2779
- (6) 通園バス利用のお子さんは、直接保育園へ登園して下さい。
24 時間を経過していても、感染防止のために利用を控えて頂き、降園時も、症状に応じて利用を控えて頂く場合があります。通園バスご利用の目安は 48 時間です。
- (7) 同居のご家族、特にごきょうだいに症状がある場合、感染の可能性が高いため、保育園への登園はお控えいただきご家庭で経過観察をしていただくよう、お願いいたします。
ご家庭内にて別室で過ごす事は感染予防として有効です。
- (8) 回復後の登園時は、症状にあわせて「登園許可書（A 様式）」「登園届（B 様式）」の提出が必要です。

II. ご家庭で実践、感染症予防

本園では、週明けに体調不良で欠席したり、登園後に家庭連絡をしたりする傾向にあります。休日中の外出により外部から、また生活リズムの乱れにより、体調を崩して、よりウイルスに感染しやすくなることが考えられます。ウイルスが活動している5月頃まではご家庭での予防対策が大切になります。ご家族の生活習慣として、うがい・手洗い・換気・水分補給・規則正しい生活等、園と同様に実践していきましょう。

➤ マスクの着用

鼻喉の潤いも保ちます。正しく着用しましょう。感染した際にはエチケットとして定着しましょう。

2歳児以上は、通園リュックの内ポケットに使い捨てマスク（不織布製）を1枚、記名したビニール袋へ入れて、持参してください。クラス内で嘔吐・咳症状があった場合には、感染予防として着用致します。使用した場合は、翌日までに補充してください。

➤ 大切な手洗い

子ども達の生活は、様々な菌やウイルスに感染する可能性があります。手洗いやうがいで、手や喉の粘膜についた菌やウイルスを洗い流すことで、健康を守りましょう。当園では0歳時から昼食・間食前、外出後、トイレ後の手洗いを保育士と一緒にしています。リーフクラスまでは泡タイプ、それ以上のクラスでは液体石鹸や固形石鹸で泡立てを15秒以上行い、水道水で10秒以上洗い流しています。

【手洗いのポイント】

泡立 て : 石鹸を擦りつけるだけでなく、泡立てることで雑菌やウイルス・汚れは泡にまみれて手から離れていきます。泡立てが上手に出来ないと、手洗いそのものも簡単に済ませがちになってしまいます。泡立てが苦手な小さな子どもには最初から泡が出るタイプのハンドソープをお勧めします。

洗い残し : 手の平だけでなく、手の甲・指の間・指先(爪)・手首は、大人でも洗えていない事が多いです。

清潔なタオル : 手を洗った後、拭かずに手をブラブラさせて自然乾燥や衣服に手を擦りつけると、せっかくきれいになったはずの手に雑菌やウイルスが付きやすくなります。また、雑菌は湿ったタオルで増殖してしまうので、タオルはこまめに取り替えていつも清潔にしましょう。

各玄関にアルコールを設置します。園児・保護者ともに入退室時には、アルコール（又は水道にて手洗い）にて手指消毒してください。

➤ うがいの習慣

外出後はうがい薬や殺菌効果のある緑茶などを用いて行いましょう。うがいのできない小さいお子さんは、喉が乾かないようにお茶をあげると良いでしょう。

➤ 環境を整えましょう

室温20℃以上、湿度50～60%がウイルスの苦手な湿度とされています。清潔にしましょう。衣類、身の回り品は、洗濯や消毒で清潔に心掛けましょう。

➤ 便利グッズのご案内

嘔吐・下痢を処理するために、保育園と同様の処理用品をセット販売させていただきます。ご家庭ではなかなか手元に揃えられないものですが、セットになっているため急な症状にすぐ対応して頂けるようになっています。素早い対応がお子さん・ご家族を守ります。ご家庭や自家用車（車内での嘔吐も多く報告されています）にてご利用頂ければと思います。

購入される方は、担任まで連絡帳・又は口頭にてご連絡下さい。購入数を確認し、該当翌月保育料にて引き落としさせていただきます。

【処理用品A：100円】 内容：ゴミ袋小（2枚）・ゴミ袋大（2枚）
使い捨て手袋（2枚）・マスク（2枚）
ビニールエプロン（2枚）

【処理用品B：300円】 内容：処理用品A・
ノンアルコールウェットティッシュ（1袋）



※処理の時には、上記に加えて以下をご家庭でご用意ください。

ペットボトル500ml・キッチンハイター（25ml）・新聞紙（古布）